

## 意識低下に対する対策について

「寝たばこ」による火災時に、煙式住宅用火災警報器が作動した時には、既に一酸化炭素中毒による避難行動障害が生じている可能性があることを示した研究結果（別添参照）が公表されている。

なお、同研究において実施した実験では、住宅用火災警報器よりも一酸化炭素（CO）警報器の方が早く作動している。

<住宅用火災・CO 警報器について> \*ガス警報器工業会ホームページより抜粋

### 住宅用火災・CO 警報器

機能: 火災や CO(一酸化炭素)を検知する機能が一体化した複合型警報器。



火災警報機能	感知方式	煙感知式（光電式）
	警報方式	即時警報型 赤色ランプ点灯、音声による警報
不完全燃焼警報機能	検知対象	不完全燃焼排気ガス中の一酸化炭素（CO） 低濃度：50ppm を超えて 250ppm 以下 高濃度：低濃度警報レベルを超えて 550ppm 以下
	警報方式	低濃度：黄色ランプ点滅、5分経過後、音声による警報音 高濃度：黄色ランプ点灯、音声による警報音

<寝たばこ火災に役立つと思われるケース>

寝たばこ → CO 発生 → 不完全燃焼警報作動（火災警報未作動）



音声警報により避難